

2023年

12月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地



4年ぶりに第32回黒木町社会福祉大会 が開催されました

(主催：黒木町社会福祉大会実行委員会)



はやめ人情ネットワー
ク顧問 汐待律子氏に
よる、地域の福祉活動
が全国モデルになるま
での講演



輝翔館中等教育学
校生徒による力強
い大会宣言と赤い
羽根共同募金活動



多くの市民が来場さ
れたチャリティ物品
バザーの様子

黒木中学校吹奏楽部に
よるダイナミックな演奏



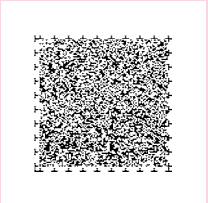
10月7日(土)、第32回黒木町社会福祉大会が開催されました。同大会は、誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざし開催されていますが、新型コロナウイルスの影響で令和2年度から中止していたため、4年ぶりの開催となりました。

基調講演では、認知症のご本人とその家族の支援に地域を挙げて取り組んでいる、「はやめ人情ネットワーク」顧問の汐待律子氏より講演をしていただきました。認知症になっても安心して住み続けることができるまちづくりに向けて、たくさんのヒントを与えていただくものになりました。

また、輝翔館中等教育学校による赤い羽根共同募金の街頭募金や大会宣言、黒木中学校吹奏楽部による演奏等、会場いっぱい若い活力が満ちあふれ、すべての世代が連携して、福祉のまちづくりを進めていくことの大切さを実感しました。

更に、チャリティ物品バザーには、市民の皆さまより多くの物品寄附をいただきました。収益金は、黒木町の福祉活動に活用されます。

黒木町社会福祉大会実行委員会では、今後も住民参加による福祉のまちづくりを推進してまいります。



●赤い羽根共同募金運動報告（八女市独自啓発事業）

共同募金イラスト・標語受賞者へ表彰状を贈呈

令和5年度赤い羽根共同募金運動の開始にともない、市内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、障がい者支援施設より、イラストと標語を合わせて970点応募をいただきました。共同募金会八女市支会では、受賞された皆さんに対し、表彰状を贈呈しました。

受賞作品は、八女市で作成したオリジナルカレンダー等の啓発資材に活用して、共同募金運動を推進しています。（※イラスト・標語については10月号に掲載しています）

最優秀賞

八女市立上妻小学校

1年生 杉山 快瞭さん



▲標語の部

優秀賞

八女市立黒木西小学校

4年生 川原 楓愛さん



▲標語の部

八女学院高等学校

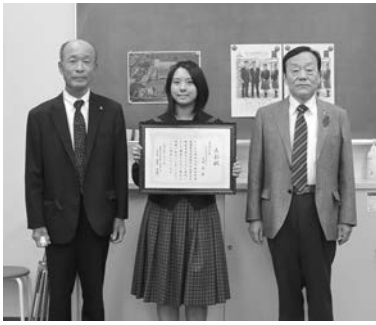
1年生 高田 紗菜さん



▲イラストの部

八女学院高等学校

1年生 大坪 響さん



▲イラストの部

八女市立岡山小学校

6年生 井上 結愛さん



八女市立立花小学校

5年生 山口 裕翔さん



▲イラストの部

●福岡県共同募金会事業

福岡県赤い羽根キャッチフレーズ（福岡県共同募金会主催）表彰状を贈呈

赤い羽根キャッチフレーズは、赤い羽根共同募金のことを知ってもらい、親しみあるものとして感じていただき、自分たちが住む町で行われている様々な福祉活動を支えている募金であることを啓発していくために毎年、福岡県共同募金会本会の主催により、福岡県内の小・中・高・特別支援学校・義務教育学校に募集案内を行っています。

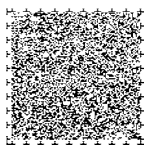
今年度は県内44の学校から5,300点の応募があり、この中から輝翔館中等教育学校1年生の金子千花さんが「優秀賞」を受賞されました。また、多数の作品を応募いただいた点が評価され、輝翔館中等教育学校が「特別賞」に選ばれました。



▲「優秀賞」を受賞された中等部 金子千花 様



▲「特別賞」を受賞された中等部・高等部 様



●社会福祉法人による社会貢献活動報告



社会福祉法人の社会貢献活動による支援の輪が始まりました。

10月16日(月)、社会福祉法人 楠会くすのきかひ(若楠園)様(以下、「楠会」)による社会貢献活動として、地域のふれあいサロン参加者にサロン会場までの送迎支援を実施されました。支援が始まったきっかけは、吉田ふれあいサロンの世話人さんより、「参加者の足腰が弱り、長距離の歩行が困難で参加できない方がいる。」「月一回のサロンを楽しみにされているので、どうにかできないか。」「といった、移動に関する困りごとや課題が寄せられたことでした。

このような地域の困りごとに対して、地元長峰校区(豊福行政区)の「楠会」様に地域の取り組みや現状を説明したのち、送迎支援について相談させていただいたところ、「楠会」様としても地域の皆さんのために社会貢献をしたい。」「サロン開催の時間帯であれば車両が空いているので協力できる。」「と賛同いただき、今回の支援が実現しました。

参加者からは「もうサロンに行かれないと思った。」「本当にありがたい。」「またみんなに会える。」「といった喜びの声があがっていました。

今後、「楠会」様の社会貢献活動(送迎支援)は毎月一回、吉田サロン開催時に実施される予定です。



木下秀幸理事長からひと言！



社会福祉法人は日常生活において、支援を必要とする人に対して福祉サービスを積極的に提供するよう努める責務があります。今回、社会貢献についてお話をいただき地域の方の役に立てることをうれしく思っています。活動を行う中で、地域の皆さんの笑い声や元気な姿を見ることができてよかったです。

これからも長くサロンに参加していただきたいと思いますので、今後でもできる範囲で協力していきたいと思っています。

●社会福祉協議会からの報告



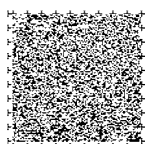
社会福祉士をめざす大学生が実習に来られました

8月21日(月)～9月21日(木)まで、筑紫女学園大学人間科学部 心理・社会福祉専攻社会福祉コース3年生の宮尾ひかりさんが社会福祉士をめざし、約1カ月に及び社会福祉実習にいられました。

宮尾さんからは、「八女市の地域の皆さんの温かさを感じる事ができ、実習をやり遂げる活力になりました。

現在、大学では、実習を振り返り、報告会や卒業研究を行っています。私は、実習を通して、ほっと館やめでの活動が特に印象に残ったので、『ひきこもり支援と地域の居場所づくり』を研究テーマに挙げています。実習で学んだことを活かして、社会福祉士の資格取得をめざしてがんばっていきます。』との感想をいただきました。

宮尾さんには実習の経験を活かし、社会福祉士の資格取得をめざしてがんばっていただきたいと思います。約1カ月間にわたる実習、おつかれさまでした。



●世代間交流活動報告



地域の高齢者と子どもたち とのふれあい交流事業 ふれあい田んぼ「収穫祭」 (共同募金配分金事業)

「稲刈りは楽しかったですか?」「はい!お米が
いっぱいとれて楽しかった!」子どもたちの笑顔と笑
い声があふれるふれあい田んぼ「収穫祭」の様子をお
伝えます。

八女市社会福祉協議会矢部支所では、10月6日(金)、
地元農家のご協力により、矢部保育園「ゆり組」6名、
矢部清流学園1・2年生12名、地元シニアクラブ8名、
地域の方等、総勢45名で稲刈りを行いました。

地域の皆さんの指導のもと、子どもたちも鎌を使用
して一束ずつ丁寧に稲刈りをしました。子どもたちが、
刈った稲を一定の大きさに束ね、掛け干し用の竿まで
腕いっぱい抱えて運ぶたくましい様子に、成長を感
じました。

収穫した新米は、矢部保
育園・矢部清流学園・ゆい
のもりへ届け、給食の食材
として活用されます。



●地域活動報告



上妻校区まちづくり協議会 「花いっぱい運動」が開催

10月13日(金)、上妻校区まちづくり協議会の
取り組みの「花いっぱい運動」が開催されま
した。当日は、上妻校区まちづくり協議会の
皆さんをはじめ、上妻校区民生委員児童委員、
主任児童委員、上妻小学校5・6年生と教職
員、保護者の皆さん、上妻校区内の
福祉施設利用者と
職員が参加されま
した。

当日は晴天にも
恵まれて、児童と
地域の皆さんで和
気あいあいと花の
植え方を教わりな
がら、プランター
にスミシの花を丁
寧に植えていきま
した。

この取り組みを
通して上妻校区で
は、地域住民のつ
ながりづくりや地
域への愛着、美し
い地域づくりを推
進されています。



●福祉教育活動報告

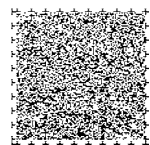


福島小学校で福祉 出前講座を開催

10月4日(水)、10月13日(金)、福島小学校4年生を対象
に「車椅子体験」「手話体験学習」を開催しました。
車椅子体験では、体育館と段差のある廊下の2コース
に分かれて体験してもらいました。

他にも、車椅子生活をされている方から、生活の様子
を教えてくださいました。児童から「車椅子生活でよ
かったことは何ですか?」と質
問があり、「みんな(子ども)と
同じ目線で話ができる事です。」
と話されました。

手話体験学習では、講師のお
話を聞き、挨拶や簡単な単語を
手話で話せるように学習を行
いました。日常生活で使用されて
いる「目覚まし時計」や「イン
ターフォン」を動画で説明され
初めて見る光景に児童の皆さん
も驚いた様子でした。





上陽地区福祉のつどい開催

10月15日(日)、八女市地域福祉センターにおいて、上陽地区福祉のつどいが開催されました。当日は「みんなで考え行動し、つながりと支え合う地域を作ろう」のスローガンをもとに開催されました。

第一部では、認知症キャラバンメイトによる認知症についての講演がありました。脳の働きや認知症の症状等を分かりやすく伝えられ、寸劇では日常の様子の一コマを通して、認知症の方の気持ちと、認知症の方を心配する近所の方、それぞれの思いの違いに気づくことができ、認知症について理解することができました。

上陽地区においては、以前から認知症の相談が増えており、毎月行われている三者連携会議(市上陽支所・上陽地域包括支援センター・社協上陽支所)の中でも、認知症についての課題について協議を行ってきました。

今年は、昨年を上回る参加者数となり、皆さん、認知症について関心がある様子で、キャラバンメイトの講話や寸劇に傾きながら聞き入っていました。第二部のダンサー馬場コンサートでは、ギターを手に、オリジナル曲を含む8曲の歌声披露と八女弁を交えたトークもあり、大盛況でした。

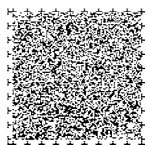
ホールでは各団体の紹介パネルが展示され、それぞれの活動を知る機会になりました。



打越サロンの(げんき会)の開催

10月20日(金)、打越公民館にて打越サロン(げんき会)が開催されました。午前10時頃から地域の方が徒歩や自動車であられ、公民館の室内には、民生委員児童委員や地区関係者が自動血圧計で声かけながら、健康チェックを実施していました。参加者の健康チェックが終わった後に、生活支援コーディネーターから、健康についての話やデジタルシニアスマホ教室の紹介を行い、多くの方の参加を呼びかけました。

参加者の中には、96歳の女性も参加しておられ、バランスボールゲームを行う等、他の参加者と楽しく参加されていた姿が印象的でした。





ほっとフレンドふぁーむで、さつまいもを収穫しました！

ほっと館やめでは、先日、さつまいもの収穫をしました。6月に苗を植え、10月半ばの収穫でした。ほっと館やめを利用されている皆さん、総勢7名で段ボールにいくつもの収穫ができました。今年は3種類の苗を植え、昨年よりも多く採れました。10月の半ばでしたが、汗ばむくらいの気候で、みんなでせせと掘っていきました。今年の夏から野菜づくりに参加されている利用者の皆さんも、だいぶ慣れてきた様子で、みんなで収穫を喜び合う姿が見られました。収穫後には採れたサツマイモを試食しましたが、とっても美味しくできていて、今年も大成功でした。



12月の行事予定	精神対話士による無料相談会（※毎月第2土曜日・第4木曜日）
<ul style="list-style-type: none"> ●12月 9日(土)13:30～ 笑福クラブ親の会（不登校ひきこもり親の会）定例会 ●12月12日(火)10:30～ お料理教室 ●12月23日(土)14:00～ ひまわりの会定例会 	<p>●面談日：12月9日(土)・21日(木) 年末のため、第3木曜日に変更 13:30～15:30</p> <p>（事前予約制となっております。事前に下記の問い合わせ先までお電話ください。）</p>

※「ひまわりの会」は、生きづらさを感じる子の保護者、そしてそんな皆さんをサポートする人の集まりです。

●12月29日（金）～1月3日（水）は休館となります。



上陽地区にほっとフレンドふぁーむを作りました。

上陽地区でも新たにほっとフレンドふぁーむを始めました。さっそく、秋じゃがを植えました。多少、イノシシに荒らされてしまいましたので、周囲に紐を張って、イノシシの侵入に備えています。何とか半分程度は育ちそうです。現在、ほっとフレンドふぁーむの開始にともない、先日、利用者の皆さんといっしょに看板製作を行いました。『ほっとフレンドふぁーむ』の文字の横に、いろいろな野菜や果物を描き、裏には八女の風景を描いて、すてきな看板が完成しました。

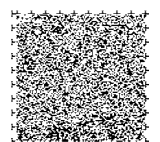


（※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。）



問い合わせ	ほっと館やめ ☎22-8315 携帯090-6893-5701 メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp	ほっと館やめ（上陽） ☎24-9820 携帯090-7457-4053 メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp

※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。





授産所麻生園改修工事の 起工式が行われました

10月19日(木)、授産所麻生園の移転先である旧星寿園(特別養護老人ホーム)跡地において、改修工事が始まるのを前に、施主をはじめ、設計、施工関係者が参列して起工式が行われました。

式典では、地鎮の儀に際し古賀会長が鍬入れを行ったあと、参列者が祭壇に玉串を奉納して工事の安全を祈願しました。

今後は、令和6年3月末の新しい麻生園のオープンに向けて建物内の改修工事が本格的に始まります。



ありがとうございます 車椅子の寄附をいただきました

10月20日(金)、和太鼓「童衆」様から車椅子の寄附をいただきました。「童衆」様からは平成30年から毎年車椅子の寄附をいただき、今年で6回目となります。この車椅子は貸出しや車椅子体験学習等に活用させていただきます。「童衆」の皆さんありがとうございました。

社会福祉協議会では、車椅子の貸出しを行っています。貸出し料は無料です。ただし、貸出しには数に限りがあります。

詳しくは八女市社会福祉協議会本所・各支所までお問い合わせください。



地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- **年齢**：男性 17～69歳 女性 18～69歳
※ 65歳以上の献血については、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- **体重**：男女とも 50kg以上
- **インフルエンザワクチンを摂取された方は、摂取後24時間を経過していれば献血にご協力いただけます。**
- **インフルエンザに感染された方のうち、症状消失後3日が経過し、回復後に治療・通院を要する後遺症が無く、問診などで全身状態が良好と確認できれば、献血にご協力いただけます。**
- **最終的な献血の可否は、ご本人様の当日のご体調等も勘案し、献血会場の健診医師が総合的に判断いたしますので、あらかじめご了承ください。**

● **日時**：12月12日(火)
10時～11時30分/
12時30分～15時30分

会 場：八女市民会館「おりなす八女」

● **問い合わせ**：八女市献血推進協議会(八女市社会福祉協議会内)
☎ 23-0294



八女市社会福祉協議会

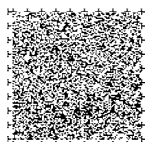
福祉総合相談センター



お気軽にご相談ください(窓口でのご相談もできます)

本 所 (八女市社会福祉会館内)	☎ 23-0294 携帯090-8661-3684
上陽支所 (八女市地域福祉センター内)	☎ 54-3629
黒木支所 (地域交流センターふじの里内)	☎ 42-2131
立花支所 (立花総合保健福祉センターかがやき内)	☎ 37-0036
矢部支所 (総合福祉団地ゆいのもり内)	☎ 47-3123
星野支所 (星野総合保健福祉センターそよかぜ内)	☎ 52-3165

困っているけど、どこに相談していいかわからない。そんな時は、福祉総合相談センターまでご連絡ください。



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



リサイクル適性(A)

環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



